

** 2010年4月改訂 (第6版)

日本標準商品分類番号
8 7 2 6 4 9

* 2005年4月改訂

外用鎮痛・消炎固形軟膏

スティックゼノール[®]

STICKZENOL A

承認番号	(04AM)1187
薬価収載	1994年7月
販売開始	1994年8月

貯法：密栓して室温保存
 使用期限：外箱等の表示を参照
 注意：使用後は必ずキャップをきちんとしめること。(揮発性のために薬剤がもろくなり、使用できなくなることがあります)
 「取扱い上の注意」の項参照

【禁忌 (次の患者には使用しないこと)】
 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

販売名	スティックゼノールA
成分・含量 (100g中)	日本薬局方サリチル酸メチル18.50g 日本薬局方 <i>l</i> -メントール.....6.00g 日本薬局方 <i>dl</i> -カンフル.....5.00g グリチルレチン酸.....0.02g
添加物	香料、イソプロパノール、ステアリン酸Na、グリセリン、ヒマシ油
色・剤形・におい	無色～微黄色の芳香を有する半透明の固形軟膏剤
識別コード	MZ - SZA

【効能又は効果】

下記における鎮痛・消炎
 打撲、捻挫、筋肉痛、関節痛、骨折痛、虫さされ

【用法及び用量】

通常、1日1～数回適量を患部に塗擦する。

【使用上の注意】

1. 副作用

分類	頻度	0.1～5%未満
過敏症 ^{注)}		発赤、発疹、腫脹等

注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

2. 小児等への使用

乳幼児には刺激が強すぎることがあるので、慎重に使用すること。

3. 適用上の注意

- (1) 眼又は眼の周囲に使用しないこと。
- (2) 損傷皮膚及び粘膜に使用しないこと。
- (3) 湿疹又は発疹の部位に使用しないこと。

【薬効薬理】

ラットカラゲニン足蹠浮腫、ラット炎症足圧痛刺激に対する試験において、本剤は無処置対照群及び基剤群に対し、有意な抑制作用が認められた。¹⁾

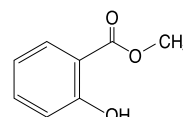
**【有効成分に関する理化学的知見】

1. サリチル酸メチル

一般名：サリチル酸メチル (Methyl Salicylate)

化学名：Methyl 2-hydroxybenzoate

分子式：C₈H₈O₃
 分子量：152.15
 沸点：219～224℃
 構造式：



性状：無色～微黄色の液で、強い特異なにおいがある。
 エタノール (95) 又はジエチルエーテルと混和し、水に極めて溶けにくい。

2. *l*-メントール

一般名：*l*-メントール (*l*-Menthol)

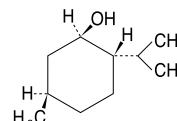
** 化学名：(1*R*,2*S*,5*R*)-5-Methyl-2-(1-methylethyl)cyclohexanol

分子式：C₁₀H₂₀O

分子量：156.27

融点：42～44℃

構造式：



性状：無色の結晶で、特異でそう快な芳香があり、味は初め舌をやくようで、後に清涼となる。
 エタノール (95) 又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水に極めて溶けにくい。室温で徐々に昇華する。

3. *dl*-カンフル

一般名：*dl*-カンフル (*dl*-Camphor)

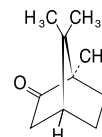
** 化学名：(1*R*,4*R*)-1,7,7-Trimethylbicyclo[2.2.1]heptan-2-ol

分子式：C₁₀H₁₆O

分子量：152.23

融点：175～180℃

構造式：



及び鏡像異性体

性状：無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。
 エタノール (95)、ジエチルエーテル又は二硫化炭素に溶けやすく、水に溶けにくい。室温で徐々に揮散する。

4. グリチルレチン酸

一般名：グリチルレチン酸 (Glycyrrhetic Acid)

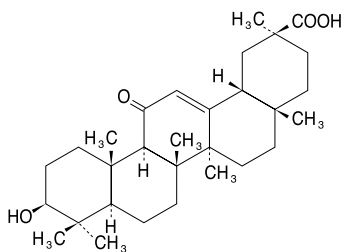
化学名：3β-hydroxy-11-oxoolean-12-en-30-oic acid

分子式：C₃₀H₄₆O₄

分子量：470.68

融点：288～297℃

構造式：



性状：白色の結晶性の粉末で、におい及び味はない。
ピリジンに溶けやすく、エタノール又はクロロホルムにやや溶けやすく、石油エーテルに溶けにくく、水にほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

1. 小児の手のとどかない所に保管すること。
2. 合成樹脂、塗料（家具、塗装床、アクセサリ等）、化繊、絹、皮革等に付着すると変質することがあるので注意すること。
3. 直射日光、高温を避けて保管すること。
4. 火気に近づけないこと。

【包装】

- 40 g × 10 本
- 40 g × 50 本

【主要文献】

- 1) 三笠製薬株式会社 社内資料（薬効薬理）

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

* 三笠製薬株式会社 営業本部学術課

〒176 - 8585

東京都練馬区豊玉北 2-3-1

TEL (03) 3557-7287

FAX (03) 3994-7462

*



製造販売元

三笠製薬株式会社

東京都練馬区豊玉北 2-3-1